



大震災の復興と共に歩む

校長 西宮良雄

お子様のご進級並びにご入学おめでとうございます。

新年度は、お子様の新生活のスタートの時に、新たな気持ちで希望と意欲が湧き上がると共に、家族史にとっても重要な区切りの時と思います。

ところで、去る3月11日の「東日本大震災」は、被災地の東北地方を中心に甚大な被害をもたらしました。改めてお亡くなりになった方々のご冥福をお祈りすると共に、被災された方々の一日も早い生活再建をお祈りいたします。

被災地の復旧や鉄道・道路・電力・流通等のインフラの復旧も徐々に行われています。

しかし、本格的な復旧には長い時間がかかることが予想され、被災された方々への物心両面に渡る支援を続行すると共に、余震の継続への備え、計画停電などへの協力、資源の有効利用など、教育の場面からも安全確保や国民としての協力を努めて参ります。

幸い、予定通り新年度のスタートを切ることができました。今後の教育活動が、可能な限り通常に近い形で実施できるように努力して参りますが、震災の影響や復興に関わる諸政策・諸活動との関係で、教育活動が制約を受ける場合も考えられます。教育委員会とも密接な連携をとり、そうした場合でも最小限の影響に留めるよう最善の努力を致します。

また、そうした場合には、適切に情報提供をして参ります。

ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ところでご報告になりますが、去る3月25日に、地域の方々や卒業生保護者の皆様のご参会を得て、本校第51回卒業証書授与式が行われました。6年間の小学校生活を無事修了し、立派な態度で卒業式に臨んでいるお子様の姿を目の当たりにし、保護者の方々には万感の思いが去来したことと思います。また、卒業生の胸には多くの思い出が巡ったことと思います。

在校生を代表して5年生が式に参加しましたが、とても立派な態度で臨んでくれました。

最高学年進級への決意を一層強くしたものと思います。今年度も6年生のリーダーシップに大いに期待したいと思います。

さて、昨年度は前述の大震災の影響で年度末に授業短縮などを行いましたが、年間を通して、子供たちは元気に登校し、充実した学校生活を過ごしていました。ご家庭や地域関係者の皆様のご協力があればこそと、改めて感謝申し上げます。

子供にとって、生活の大半は学校生活ですので、元気に登校できて、安全で楽しく、また充実して過ごすことのできることの大切さを改めて確認し、今年度もこのことを大切にしていきたいと思います。

そのために、学校経営方針の柱を

- 1 学力の向上「基礎的・基本的な学習内容の確実な定着」
- 2 心豊かな児童「思いやりのある児童の育成」
- 3 信頼される学校「安全で、安心できる開かれた学校づくりの推進」

とし、全教職員で力を合わせて、教育活動に邁進いたします。

本年度もよろしく願いいたします。